

理学部 生物科学科

教育研究上の目的

生物科学科は、生物のもつ普遍性と多様性についての広範な知識を授けることで、知的好奇心と創造性に富み、生物学に関する専門的知識と科学的思考能力を身に付け、社会において、生物学の多岐にわたる分野や他の学問との境界領域で活躍できる人材の育成を目的とする。

教育目標

本学の教育目標及び本学科の教育研究上の目的等を踏まえ、理学部生物科学科では、生物学の持つ様々な基本原理と生物多様性に関する知識を習得し、これに加えて理学部出身の大学教養人としてふさわしい一般教養と社会常識をバランスよく身につけた高い識見を有する人物の育成を目指しています。

人はヒトであり、人間が作りあげた社会の諸問題もまた、生物学的な事象を包含しており、またその投影でもあります。そのため、自然科学の一分野である生物学を学んだ人は、他の分野を学んだ人々と協力しあうことで、人間社会の諸問題に対してその本質に迫る中確かかつ堅実なソリューションをもたらし、世の中に貴重な貢献をなすものと思われれます。

そのために、生物科学科では、講義科目と演習科目、実習科目のバランスのよい履修カリキュラムを用意して、生物学の基礎知識を基盤とした論理的思考力、表現力ならびに批判力、更には、社会が直面する生物学に関わる諸問題の解明や技術革新に貢献しうる科学的思考能力を涵養することを教育目標として定めます。また生物科学科では、4年間の学修生活を通じて、知識の獲得のみならず、文章やプレゼンテーションによる表現の錬成を通じて、生物学と理学全般との有機的な接続、ならびに、自然科学と社会科学や人文科学との関わりをも理解する能力を育成することも教育目標としています。

ディプロマ・ポリシー

(学位授与の方針)

本学科の教育課程において、卒業要件単位を修得した者は、次に掲げる知識、教養、能力を身につけていると判断され学士(理学)の学位が授与されます。

1. 全学共通カリキュラムである「FYS(ファースト・イヤー・セミナー)」, 外国語科目, 教養系科目の履修を通じて修得した教養と社会人基礎力
2. 生物学の基礎知識を基盤とした論理的思考力及び表現力
3. 社会が直面する諸問題の解明や技術革新に貢献しうる生物学を基盤とした科学的思考能力

カリキュラム・ポリシー

(教育課程編成・実施の方針)

本学科では生物学に関する専門的知識と科学的思考能力を身につけ、社会において、生物学に関わる多岐にわたる分野で活躍できる人材を育成するため、以下に示した方針に基づいて教育課程を編成しています。

1. 広範で多様な基礎的知識と基本的な学修能力の獲得のため、基礎科目として全学共通カリキュラムである「FYS(ファースト・イヤー・セミナー)」, 外国語科目および教養系科目を設置します。
2. 生物科学科では、分子から細胞、個体、生態系に至る各階層の生命現象について講義する科目をバランスよく配置し、これにより、生物の持つ「共通性」と「多様性」を理解し、生命現象を深く解析する能力を涵養する教育を実施します。また、初年次の専攻科目教育において、高等学校の理科教育で修得した基礎知識の強化を図り、生物科学の基盤となる知識の着実な積み上げを行います。2, 3年次の専攻科目では、講義と演習科目や実験科目の連携を図り、相乗効果が得られるカリキュラム編成としています。
3. 2年次と3年次に演習科目を配置し、生物科学に関連した書物の読解力と個々の考えを整理して人に伝えるための表現力を身につける訓練をします。また、演習科目は全て少人数クラスとし、密度の濃い教育を行います。
4. 1年次後期と3年次前期に主要科目として実験科目を配置し、講義科目で修得した知識と思考方法に基づいて実験データを解析・評価し、さらに結果を適切に表現し報告できる能力を養います。
5. 4年次では、各研究室の先端的学術論文等を紹介する輪講や研究室ゼミならびに卒業研究を通して、これまでに身につけた基礎学力や実験技術を有効に活用できる能力を育成し、4年間の総仕上げを行います。